

# 八木翔吾さん

(株式会社アグリにのうみ、八木商店)



お米、おおかぶを栽培

## 【農家になった理由】

元々おじいさんが農業に関わる仕事をされていて、小さい頃から身近に農業がある環境で育った八木さん。一度は他地域で就職されましたが、農業を引退する人が増え使われなくなった農地が残っているということを知り、自分が生まれ育った地域で農業をしたいという思いから亀岡市に戻り農業を始められました。今はそのような余った農地を引き継いで農業をすると同時に、農業法人と会社の運営も行われています。

## 【メイン作物・それを選んだ理由】

メイン作物は15ヘクタールにも及ぶ面積で栽培しているお米です。引き継いだ農地が元々お米を作っていた農家さんたちのものだったこと、また他の作物よりもたくさんの農地を必要とするお米の農地を継ぐことでより多くの農地を守ることに繋がるということから、お米をメイン作物とされています。

## 【メイン作物の特徴やこだわり】

お米はキヌヒカリやコシヒカリ、また酒米の祝(いわい)など、一般の農家さんよりたくさんの品種を作られています。酒米は日本酒に使用されるもので、伏見の酒造会社さんと連携して有機で作られ始められました。酒米を作っている農家さんは他にもいらっしゃいますが、有機で作っている方は少ないそう。お米を作る材料は実は海外から調達されている場合も多く、お米作りは地域内での小さな産業ではなく海外の為替などの影響を強く受けるグローバルな産業といえることから、身近なところで資材を調達できる有機の循環を作るべきであると考えていらっしゃいます。



## 【農業をする中でのやりがい・苦労】

やりがいはやはり消費者の方に食べてもらって喜んでもらうということだそうです。きっと今も誰かが自分の作ったお米を食べているのだろうなと考えると、やりがいだけでなくロマンも感じられるのだとか。

苦労としてはやはり農業は自然災害や天候に左右され、自分ではコントロールできないことが多いことを挙げられました。またお米に関しては近年相場が下がってきているので、採算を合わせることの難しさも感じるそう。

## 【亀岡市で農業をすることの魅力】

京都市に近く山を越えると大阪にもアクセスしやすいことから立地的にとっても恵まれている亀岡市。消費者が多くいる地域に近いため、運搬や販売のコストがかかりにくいほか、出荷した後すぐに食べてもらいやすいというメリットもあるそうです。

## 【取材を終えて私たち学生の感想】

農地を継いで農業をされる八木さんの取り組みは、亀岡市の持続可能な農業の実現に非常に大きな役割を果たされている素晴らしいものだと考えました。またお米の選別などの機械もたくさん見せていただき、私たちがいつもおいしいお米を食べられることのありがたみを改めて感じました。

この度は取材にご協力いただきありがとうございました！